

# NS-WSW160

ワイヤレスサブウーファー



## 取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください。

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

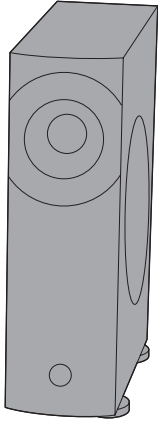
- 必ずはじめに「安全上のご注意」をお読みください（5～7ページ）。
- 本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。  
お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。
- 保証書は、「お買上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

## もくじ

ワイヤレスサブウーファー		サブウーファーを無線接続する .....	3
NS-WSW160 の特長 .....	2	困ったときは .....	4
設置 .....	2	仕様 .....	4
サブウーファーを横置きにする .....	3	安全上のご注意 .....	5

## ワイヤレスサブウーファー NS-WSW160 の特長



NS-WSW160は、ヤマハ独自の技術「AirWired」に対応したワイヤレスサブウーファーです。AirWiredに対応したヤマハ製機器からの無線信号を受信し再生します。本機に対応した機器は、弊社ホームページでご確認ください。

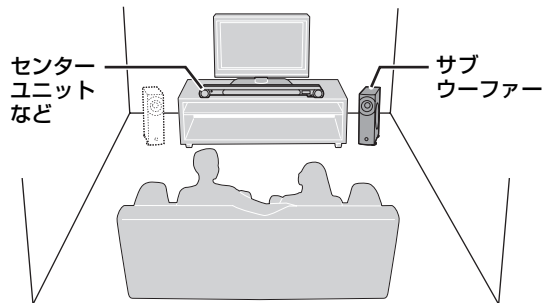
**AirWired**

「エアワイヤード」[AirWired] は、ヤマハ株式会社の商標です。

## 設置

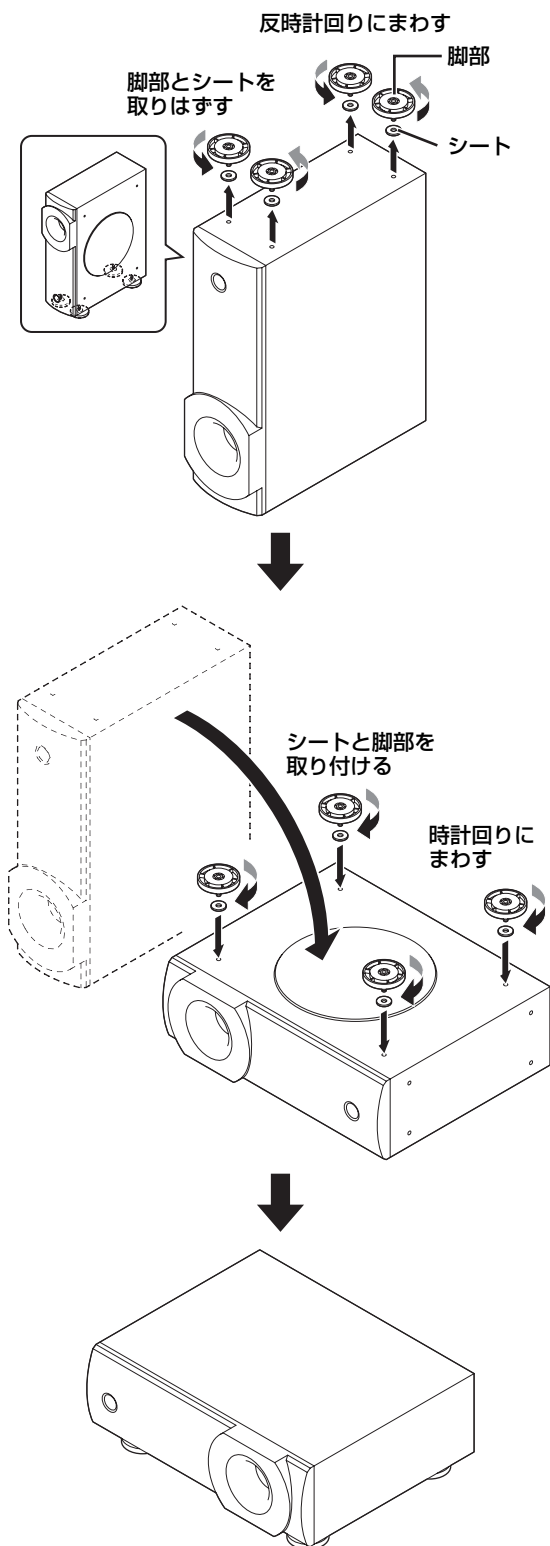
### ご注意

- サブウーファーの設置には、十分な放熱スペースが必要です。上部と後部、および左右に20cm以上のスペースをあけて設置してください。また、サブウーファーの放熱部（背面）を布などで覆わないでください。
  - 地震などの振動やお子様の接触などでサブウーファーが転倒しないように設置してください。
  - ブラウン管式テレビなど、熱を出すものの上へは直接設置しないでください。
  - 万一テレビに色ムラなどが生じるときは、テレビと本機の距離を離してご使用ください。
- 
- 壁の反射を防ぐために、サブウーファーの正面を少し内側に向けてください。  
正面を向けて設置すると、壁で反射した音とサブウーファーから出てきた音がぶつかり、打ち消し合ってしまうために、十分な低音効果が得られないことがあります。
  - ラックに設置する場合は、十分な放熱スペースと強度のあるものをお使いください。
  - サブウーファーと無線接続する機器のあいだに金属板があったり、金属製のラックにサブウーファーを置いたりするとサブウーファーの性能が十分に発揮されないことがあります。
  - 横置きにもできます（[P.3](#) ページ）。



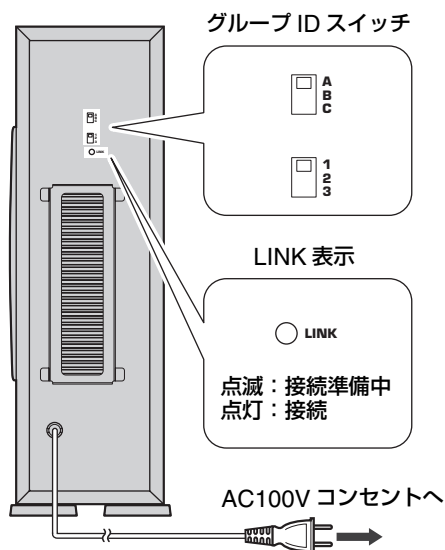
## サブウーファーを横置きにする

サブウーファーをラックに設置する場合など、横置きにできます。



## サブウーファーを無線接続する

無線で接続するには、AirWiredに対応したヤマハ製機器とグループIDを一致させる必要があります。初期設定ではサブウーファーのグループIDは「A1」（上のスイッチが「A」、下のスイッチが「1」）に設定されています。無線で接続されると、LINK表示が点灯しサブウーファーの電源がオンになります。



## 困ったときは

ご使用中にサブウーファーが正常に作動しなくなった場合は下記の点をご確認ください。対処しても正常に作動しない、または下記以外で異常が認められた場合は、本機の電源プラグを抜いて、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。



症状	原因	対策
サブウーファーから音声がでない。	無線接続されていない。	電源コードが AC コンセントに接続されているか確認してください。 背面の LINK 表示が点灯しているか確認してください (※3 ページ)。 点灯していない場合は、接続する機器が同じグループ ID になっているかを確認してください。
	サブウーファーのレベルが低い。	接続機器を操作してレベルを上げてください。詳細は接続機器の取扱説明書をご覧ください。
低音が小さい。	低音域が少ないソースを再生している。	低音域が多く含まれているソースを再生して確認してください。
		サブウーファーの設置場所や向きを変更してください (※2 ページ)。

## 仕様

型式	アドバンスド・ヤマハ・アクティブ・サーボ・テクノロジー方式
スピーカーユニット	16cm コーン非防磁型
アンプ出力	75W (100Hz、5Ω、10%THD)
アンプダイナミックパワー	130W
再生周波数帯域	30Hz ~ 200Hz
ワイヤレス部	
周波数帯域	2.4GHz 帯
通信距離	約 20m (妨害のないとき)
電源 / 電圧	AC100V、50/60Hz
消費電力	45W
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	
縦置き	145 × 446 × 371mm
横置き	435 × 146 × 371mm
質量	9.0kg

\* 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

### 本機の無線方式について

	[2.4]	2.4 GHz 帯を使用する無線設備
	[XX]	変調方式はその他の方式
	[4]	想定干渉距離が 40m 以内
		全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

本機は「JIS C 61000-3-2」適合品です。

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性第 3-2 部：限度値—高調波電流発生限度値 (1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

本製品は、電波法に基づく技術基準適合証明及び電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けた通信機器を内蔵しております。

# 安全上のご注意




ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## ■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

## ■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



### 警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



### 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。



## 警告

### 電源/電源コード



電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。  
万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。

必ず実行



下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 異常なおいや音が出る。 ● 煙が出る。
  - 内部に水や異物が混入した。 ● 異常に高温になる。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

プラグを抜く



電源コードを傷つけない。

- 重いものを上に載せない。
  - ステープルで止めない。 ● 加工をしない。
  - 熱器具には近づけない。 ● 無理な力を加えない。
- 芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

禁止



必ずAC100V(50/60Hz)の電源電圧で使用する。  
それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

必ず実行

### 分解禁止



分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。  
火災や感電の原因になります。  
修理・調整は販売店にご依頼ください。

分解禁止

### 設置



本機を下記の場合には設置しない。  
● 浴室・台所・海岸・水辺  
● 加湿器を過度にきかせた部屋  
● 雨や雪、水がかかるところ  
水の混入により、火災や感電の原因になります。

水ぬれ禁止



放熱のため本機を設置する際には：

- 布やテーブルクロスをかけない。
  - じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
  - 仰向けには設置しない。
  - 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
- (本機の周囲に左右20cm、上20cm、背面20cm以上のスペースを確保する。)  
本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。

禁止



医療機関の屋内など医療機器の近くで使用しない。  
電波が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。

禁止



心臓ペースメーカーの装着部位から**22cm**以上離して使用する。  
本機が発生する電波により、ペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

必ず実行



十分な耐荷重強度のある、水平で安定した場所に設置する。  
傾斜面や、水平でないところ、カーペット、畳などの安定しない面や変形する面などに設置しないでください。

必ず実行

### 使用上の注意



ポート（開口部）に異物を入れたり、落としたりしない。  
火災や感電の原因になります。

禁止



本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。  
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

必ず実行



雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。  
感電の原因になります。

接触禁止



本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。  
水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。

禁止

### お手入れ



電源プラグのゴミやほこりは、定期的にとり除く。  
ほこりがたまったまま使用を続けると、プラグがショートして火災や感電の原因になります。

必ず実行

## ⚠ 注意

### 電源/電源コード



長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。  
火災や感電の原因になります。

プラグを抜く



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電の原因になります。

ぬれ手禁止



電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。  
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

禁止



電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。  
差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。

必ず実行



電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。  
感電や発熱および火災の原因になります。

禁止



本機を主電源から完全に切り離すには、電源プラグをコンセントから抜く。  
センターユニットなどの⏻（電源）キーでスタンバイ状態にしても、本機はまだ通電状態にあります。

必ず実行

### 設置



不安定な場所や振動する場所には設置しない。  
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。

禁止



おおむけには設置しない。  
故障やけがの原因となることがあります。

禁止



直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばや車内など）には設置しない。  
本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。

禁止



ほこりや湿気が多い場所に設置しない。  
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。

禁止



他の電気製品とはできるだけ離して設置する。  
本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。

必ず実行



無線ネットワークを使用する場合は、金属製の壁や机、電子レンジ、他の無線ネットワーク機器の近くへの設置を避ける。  
遮蔽物があると通信可能距離が短くなる場合があります。

必ず実行

## 移動



移動をするときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。

接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

プラグを抜く



持ち運ぶときにはポート（開口部）に手をかけない。

ポートがはずれたり、本機を落としたりして、けがの原因になります。

禁止

## 使用上の注意



環境温度が急激に変化する場所では使用しない。

本機に結露が発生することがあります。正常に動作しないときには、電源を入れない状態でしばらく放置してください。

禁止



ポート（開口部）には手を入れない。

感電やけがの原因となることがあります。

禁止



ブラウン管を使用したディスプレイから離して設置する。

色むらが起きることがあります。

必ず実行

## お手入れ



お手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。

感電の原因になります。

必ず実行



薬物厳禁

ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。

外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

禁止

機器を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届く状態でご使用ください。

## 無線に関するご注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。



## 音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

「音のエチケット」

# お問い合わせ窓口

## ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

### ■ヤマハお客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口



0570-011-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。  
TEL (053) 460-3430

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

受付：月～金曜日 10:00～18:00 土曜日 10:00～17:00  
(日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

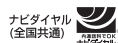
### ■ホームシアター・オーディオサポートメニュー

お客様からお寄せいただくよくあるお問い合わせをまとめました。  
ぜひご覧ください。

<http://jp.yamaha.com/support/audio-visual/>

## ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

### ■ヤマハ修理ご相談センター



0570-012-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。  
TEL (053) 460-3430

受付：月～金曜日 9:00～18:00 土曜日 9:00～17:00  
(日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

### FAXでのお問い合わせ

北海道、東北、関東、甲信越地域にお住まいのお客様  
(03) 5762-2125

九州、沖縄、中国、四国、近畿、東海、北陸地域にお住まいのお客様  
(06) 6465-0367

### 修理品お持ち込み窓口

受付：月～金曜日 9:00～17:45  
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

### 東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1  
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F  
FAX (03) 5762-2125

### 西日本サービスセンター

〒554-0024 大阪市此花区島屋6-2-82  
ユニバーサル・シティ和幸ビル9F  
FAX (06) 6465-0374

### 名古屋サービスステーション

〒454-0832 名古屋市中川区清船町4丁目1-11  
ピアノ運送(株)名古屋営業所1F  
FAX (052) 363-5903

### 九州サービスステーション

〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4  
FAX (092) 472-2137

\*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

# 保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

- **保証期間**  
製品に添付されている保証書をご覧ください。
- **保証期間中の修理**  
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- **保証期間が過ぎているとき**  
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。
- **修理料金の仕組み**

<b>技術料</b>	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
<b>部品代</b>	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
<b>出張料</b>	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

- **補修用性能部品の最低保有期間**  
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- **製品の状態は詳しく**  
サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。  
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

- **スピーカーの修理**  
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

- **摩耗部品の交換について**  
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。本機を未永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

#### 摩耗部品の一例

ポリウムコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

## 永年ご使用の製品の点検を！



愛情点検

### こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感ずる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。  
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

